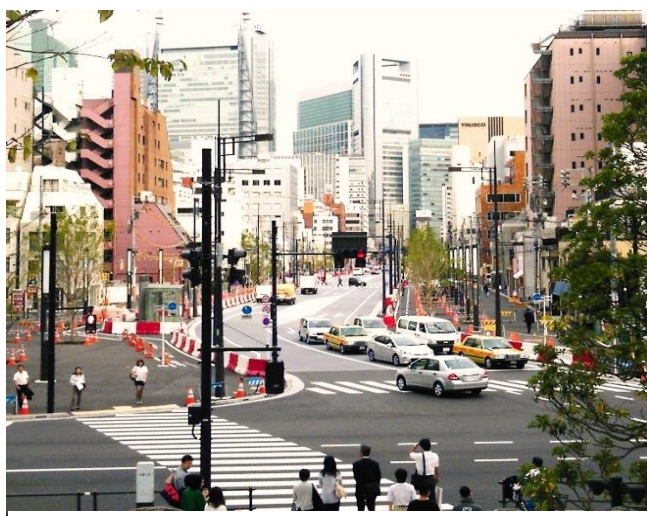


港区を歩く③ その後の虎ノ門ヒルズ周辺

「港区を歩く」の第1回(2014年9月)が虎ノ門ヒルズ周辺を取り上げました。それから1年以上が経ち、どう変化したのでしょうか。

まず、新橋に向かう環状2号線(新虎通り)では、まだ歩道の工事が行われているものの、歩道のレンガ敷きや植栽、自転車専用道などが出来あがりつつあります。

また、新たにレストランやビルが立ち始めています。



A 虎の門ヒルズ正面の交差点(2014年9月)



B Aと同地点(2016年1月)。よく見ると左側に白いビルが増えている。



C 新虎通りの歩道。自転車専用道や植栽も整備された。



D 新虎通りの沿道には新たにレストランが開店した。

港区を歩く③③ その後の虎ノ門ヒルズ周辺

新虎通り以外の周辺道路の整備は、終了したようです。

いずれの道路も植栽が増え、歩道も広がったように思います。

交通量は相当に増えました。歩道の幅員が広がったせいか、歩道を走る自転車の数も増えました。



E 虎の門ヒルズ周辺の道路(2014年9月)。



F Eと同地点(2016年1月)。工事は終わっていた。



G Fの反対方向を見る。



H 虎の門ヒルズの北側の隣接道路

港区を歩く③③ その後の虎ノ門ヒルズ周辺

愛宕神社に続く南部では、いよいよ再開発工事が始まりました。再開発予定地の外周部でも建物の立ち退きがほぼ完了しているようでした。

古くからの木造建築はほぼ一掃され、現在は、今年度いっぱいので埋蔵文化財の発掘調査が行われています。

撮影日：2016年1月4日



I 虎の門ヒルズ南側の再開発予定地(2014年9月)。



J Iの1帯では工事が始まった。



K 再開発予定地の外周部の建物も既に立ち退いていた。



L 2015年8月時点では、こういう景観がまだ残っていた。